

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
【発行日】令和 4 年 12 月 5 日(2022.12.5)

【公開番号】特開 2022-173250(P2022-173250A)  
【公開日】令和 4 年 11 月 18 日(2022.11.18)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-213  
【出願番号】特願 2022-141975(P2022-141975)  
【国際特許分類】

C 0 8 G 63/181(2006.01)

10

C 0 8 L 67/02(2006.01)

C 0 8 L 101/00(2006.01)

C 0 8 J 5/18(2006.01)

【F I】

C 0 8 G 63/181

C 0 8 L 67/02

C 0 8 L 101/00

C 0 8 J 5/18

C F D

【手続補正書】

20

【提出日】令和 4 年 11 月 25 日(2022.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2, 5 - フランジカルボン酸単位と 1, 4 - ブタンジオール単位のみからなるポリエステル樹脂 (A)、および、テレフタル酸単位と 1, 4 - ブタンジオール単位のみからなるポリエステル樹脂 (B) を含む樹脂組成物であって、示差走査型熱量計 (DSC) により測定した際に、ポリエステル樹脂 (A) に由来する結晶化ピークが 135 以上であり、前記樹脂組成物が前記ポリエステル樹脂 (A) を 50 質量%以上 99.9 質量%以下含む、前記ポリエステル樹脂 (B) を 0.1 質量%以上 50 質量%以下含む、樹脂組成物。

【請求項 2】

前記ポリエステル樹脂 (A) との相溶性があり、結晶化温度が 135 以上である熱可塑性樹脂をさらに含む、請求項 1 に記載の樹脂組成物。

【請求項 3】

2, 5 - フランジカルボン酸単位と 1, 4 - ブタンジオール単位のみからなるポリエステル樹脂 (A)、および、テレフタル酸単位と 1, 4 - ブタンジオール単位のみからなるポリエステル樹脂 (B) を含む樹脂組成物からなるフィルムであって、前記樹脂組成物が前記ポリエステル樹脂 (A) を 50 質量%以上 99.9 質量%以下含む、前記ポリエステル樹脂 (B) を 0.1 質量%以上 50 質量%以下含む、該フィルムを示差走査型熱量計 (DSC) により測定した際に、ポリエステル樹脂 (A) に由来する結晶化ピークが 135 以上である、フィルム。

【請求項 4】

2, 5 - フランジカルボン酸単位と 1, 4 - ブタンジオール単位のみからなるポリエステル樹脂 (A)、および、テレフタル酸単位と 1, 4 - ブタンジオール単位のみからなるポリエステル樹脂 (B) を含む樹脂組成物からなる層を有する多層フィルムであって、前記

50

樹脂組成物が前記ポリエステル樹脂（A）を50質量%以上99.9質量%以下含み、前記ポリエステル樹脂（B）を0.1質量%以上50質量%以下含み、  
該多層フィルムを示差走査型熱量計（DSC）により測定した際に、ポリエステル樹脂（A）に由来する結晶化ピークが135℃以上である、多層フィルム。

【請求項5】

請求項3または4に記載フィルムを延伸した延伸フィルム。

【請求項6】

請求項1または2に記載の樹脂組成物を含む包装材。

10

20

30

40

50